



大田原市議会 議長
新年あけまつ

議長 引地 達雄 副議長 黒澤 昭治

新年あけましておめでとう
 ございます。市民の皆様にお
 かれましては、輝かしい新年
 を迎えられたこと心よりお慶
 び申し上げます。また、日頃
 より市議会に対しまして多大
 なご支援とご理解を賜り厚く
 御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと
 リオデジャネイロオリンピック
 において日本選手団の素晴ら
 しい活躍があり、過去最多の
 41個のメダルを獲得すること
 ができました。競泳では、本
 市出身である清水咲子選手が
 競泳女子400メートル個人
 メドレーで8位入賞という輝
 かしい記録を残しております。

2020年の東京オリンピッ
 ク開催への期待がさらに深まっ
 たことと思えます。国内にお
 いても、夏の甲子園で54年ぶ
 り2度目の優勝を飾った作新
 学院の活躍は、記憶に新しい
 ことかと思えます。

その一方、アメリカ大統領
 選挙やイギリスのEU離脱問
 題など世界的にも大きな動き
 があった年でもあり、日本経
 済にも影響を及ぼすことが懸
 念されております。1月には、
 日銀が日本経済初のマイナス
 金利を打ち出しましたが、地方

の経済や雇用問題は依然として厳
 しい状態であると言えます。

地方創生の3年目にあたる本年、
 地方自治体や地方議会は、今後さ
 らに力量が求められ、何が必要で
 どのような政策が必要なのか、独
 自の知恵と発想で将来を切り開い
 ていかなければなりません。市と
 しても本年策定される次期大田原
 市総合計画を基本とした市の将来
 像、人口減少に伴う人口ビジョン
 を具現化するために必要なこと
 を見極め、市民のための大田原市を
 創り上げていかなければなりません。
 市議会と致しましても、常に
 先進的な議会運営を目指し、議員
 定数の削減(2割)を目標に、更な
 る議会の活性化に努めていくと共
 に、二元代表制の一翼として市民
 の皆様のご期待に添える議会運営
 を目指してまいります。

結びに、皆様方のご健康とご多幸
 をご祈念致しまして年頭のご挨拶
 と致します。

大田原市議会 議長 引地 達雄

